



石神台 防災かわら版

石神台自治会防災部
自主防災委員会
広報班
97号
令和8年1月

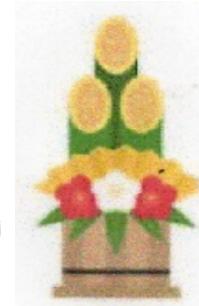
明けまして おめでとうございます



昨年は、2月に岩手県大船渡市で山林火災が発生し210棟も被災、7月にはカムチャッカ大地震と大磯町にも津波避難警報、8・9月には九州熊本での線状降水帯による大雨・土砂災害などがありました。自然災害と気候変動によるとみられる災害が多くなっているように思われます。

災害から命を守り、かけがえのない家族を守るために日頃の備えと訓練が欠かせません。縄文時代の人々も津波から命を守るために並列する古墳を造っていざという時の避難地域の目印（ランドマーク）についていたという研究結果がテレビでありました。先人と過去に学ぶ事が大事です。

今年も“油断”は禁物です。黄旗の掲出訓練、初期消火訓練、避難訓練などに取り組みます。隣近所の「互助」を育みながら地域の防災力を培っていきましょう。



本年もよろしくお願ひします。

石神台自主防災委員会

“停電時に困ったこと” ⇒ 被災経験者が明かす「声」！

いざ停電で「困った？？」は深刻です。被災者の経験談は“備え”的ヒントになります。インターネットで検索してみたら経験談が載っていました。経験談を参考にして今年の備えを考えてみてはどうでしょうか。また、停電経験者の回答調査で得られた『停電時に備えておいてよかったものTOP5』についても図示しました。

【経験談】

「夏だったので冷蔵庫の中身がダメになってしまったこと。冷房が使えず暑くて大変だったこと」「オートロックが開かない」

「11階に住んでいて、エレベーターが使えないなり、水や生活に使う物を運ぶのに苦労した」「IHコンロ（電気）なので調理ができなくて困った」

「水を流すのに電気が必要なので、トイレに行きたくても水を流すことができない」

「ひとりで夜を過ごしていた時に、停電でテレビが見られなくなり寂しくてならなかった」

【停電時に備えておいてよかったものTOP5】

